



ワークシート





ワークシート

問題 3-1

学年____クラス____名前_____

次のうち、「公開される情報」に出して良いものはどれでしょう？

- ☐ 本名
- ☐ 住所
- ☐ 年齢ねんれい
- ☐ 性別
- ☐ ハンドルネーム（ペンネーム）
- ☐ 顔写真
- ☐ メールアドレス
- ☐ 電話番号
- ☐ 誕生日
- ☐ 好きな食べ物
- ☐ ペットの名前や種類
- ☐ 学校名
- ☐ 学年
- ☐ 出席番号
- ☐ よく行くコンビニの場所
- ☐ 通っている塾じゅくの名前

問題解説 3-1

[模範解答]

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ ハンドルネーム（ペンネーム）
- ・ 誕生日
- ・ 好きな食べ物
- ・ ペットの名前や種類
- ・ 学年

上記の情報は、単独、あるいは組み合わせにおいても個人を特定できる要素を持たないため、公開しても問題にならない。

実は、問題文で提示した情報はすべて、それぞれが単独で存在するなら、個人を特定する役には立たない。例えば本名がネットに出たところで、すぐに問題が発生するわけではない。

それでも一般的に本名などを公開することが危険視されている理由は、個人を直接指し示す固有情報と、それに関連する付帯情報を組み合わせることで、プライバシーに係わる別の非公開情報にまで到達できるからである。

例えば「プリクラ写真＋学校名＋よく行くコンビニの場所」という情報の組み合わせで、通学路が判明したり、第三者が本人と直接接触できる可能性が増大する。住所や電話番号など、個人にすぐ到達できる情報の扱いにはもちろん十分な注意が必要だが、生活にまつわる一般的な情報が固有情報と結びつかないよう、公開する情報の組み合わせや、利用サービス間のリンクにも配慮する必要がある。

子どもたちは、同年代や近隣の友人を探す目的で、SNS などのサービス内で、年齢とともに住所、電話番号、現在地などを公開してしまう傾向がある。特に学年が低くなるほど、自分固有の趣味・嗜好といったアイデンティティが少ないため、代わりに学校名とクラスと出席番号というように、個人を特定しうる固有情報を書いてしまう。

一方で、福祉犯罪を目的とした大人が、子どものふりをして架空の固有情報を書き込み、連絡を請う事例も発生している。誰かがこれらの情報を書いていたとしても、それが事実である保証は何もないため、安易にそれらの情報を元に、電話やメールなど個人を特定しうる手段を使って、連絡をとるべきではない。

ワークシート

問題 3-2

学年____クラス____名前_____

Aくんは、ある日友だちのBくんから「Cくんの新しいメールアドレス教えてよ」と言われて、教えてあげました。しかし、翌日Cくんから、「何でBにアドレス教えたんだ!」と怒られてしまいました。

CくんとBくんは友だちでしたが、しばらく前にケンカをしてしまったのです。「もうBくんからのメールを受け取りたくない」と思ったCくんは、メールアドレスを^{へんこう}変更して、Aくんを含む一部の友だちだけに新しいアドレスを教えていました。

しかし、Aくんがメールアドレスを教えてしまったことで、またBくんからCくんに、メールが送られてくるようになったのです。

1. Bくんから「メールアドレス教えてよ」と言われたときに、Aくんはどうすれば良かったのだと思いますか？

2. 友だちのメールアドレスを、本人以外に聞くことについて、どう思いますか？

3. どのような^{じょうきよう}状況なら、ほかの人のメールアドレスを、本人に断りなく教えてもいいと思いますか？

問題解説 3-2 設問 1

[模範回答]

Aくんは返事をいったん保留し、Bくんにアドレスを教えていいかどうかを、Cくんを確認する。

他人の情報を管理する責任は、その量にかかわらず、情報の保有者にある。尋ねられたからといって、むやみに他人の連絡先を教えるべきではない。

問題解説 3-2 設問 2

[模範回答]

誰かを利用して他人のメールアドレスなどの個人情報を聞きだす行為は、行うべきではない。

例題のようなケースは、デリケートな友人関係を内包することで非常に複雑で、かつ正解のない状況になりがちである。子どもたちには、誰かの個人情報を本人の許可なく他人に教えるべきではないこととともに、他人の個人情報をむやみに聞き出すべきではないと理解させることが重要である。

利害関係がなく、良好な関係であることが確認できている場合には、無断で個人情報を伝えることもあるだろう。その場合でも必ず事後に、自分が先方に情報を伝えた旨を、その情報の該当者に伝えておくべきである。常に個人情報の伝達ルートを確認しておくことで、お互いの信頼関係が生まれ、より強固な人間関係を築くことができる。

問題解説 3-2 設問 3

[模範回答]

- ・ 家族に不幸があったなど、緊急に連絡を取る必要がある場合
- ・ 本人の身に危険が迫っているような場合
- ・ 本人の生存確認が必要な場合

などの緊急時には、関係する大人に判断を仰いで、第三者に個人情報を伝える。

ここで言う「関係する大人」とは、先生や相手の保護者などである。関係する大人は、事実関係を正確に把握し、落ち着いて判断する必要があることは言うまでもない。

ただし、メールは相手に今すぐ確実に伝達されるわけではなく、相手もすぐに内容を確認しない場合があるので、緊急の連絡手段としてはあまり好ましくない。その場で確実に相手に連絡を行う最善の手段は、通話である。

ワークシート

問題 3-3

学年____クラス____名前_____

Aさんは、友だちのBさんに誘^{さそ}われて、ケータイのプロフで自分のページを作成しました。Aさんは、Bさんや他の友だちに見せるつもりで、本名や、学校のクラス、自分の住所、そして、友人のBさんやCさんと一緒^{いっしょ}に撮^のった写真を載せました。また、BさんやCさんと遊^のんだりしたことについてブログを書きはじめ、そのブログへのリンクをプロフに載せました。

数日後、Cさんから恥^はずかしいから自分の写真を公開するのはやめてほしいと言われたので、Aさんは公開していた写真を削除^{さくじょ}しました。しかし写真を削除^{さくじょ}してから数日後、Cさんのところには、Aさんが公開した写真とCさんの最近の出来事を書いたメールが、知らないだれかから送られてきたのです……。

1. プロフの写真を削除^{さくじょ}したのに、なぜこのようなことが起きてしまったのでしょうか？
2. Aさんはどのようにすれば良かったのだと思いますか？
3. あなたはプロフを作るとき、何に気をつければよいと思いますか？

問題解説 3-3 設問 1

[模範回答]

いったんネットに掲載した情報は、誰かの手によって保存されたり、転送されたりすることがあるから。

公開される情報として書き込んだ話、写真などは、コピーや転載を繰り返しながら伝達される。サイトから情報を消したとしても、コピーや転載はいつまでも残り続ける。サイトの情報を Web 上のサーバや PC に保存する“クリッピングサービス”も、数多く存在する。削除されるかもしれない情報をそのまま保存する「ウェブ魚拓」(<http://megalodon.jp/>) は、その代表的なサービスである。

したがって、トラブルが起こった場合、大元の情報を削除しても無駄であることが多い。特に、ネット上である程度騒ぎになってから削除しても、ほとんど意味がない。削除したからといって、「なかったこと」にはならないのが、ネットの特徴であることを理解させる必要がある。

問題解説 3-3 設問 2

[模範回答]

情報を公開する際に、公開することでどのような問題が起こりうるかを想像すべきだった。

自分以外の人間の情報に関しても、自分の情報と同様に十分に注意を払う必要がある。相手に無許諾で、友だちの写真などを掲載すべきではない。

また、自分の発信情報と友人の発信情報を組み合わせることで、個人が特定される場合もある。2 人が友人関係であるということで、複数の情報が統合され、全体で 1 つの完全な個人情報を形成するからである。

問題解説 3-3 設問 3

[模範回答]

- ・自分が特定される固有の情報（文化祭の名称、学校の略称、出席番号など）を書き込まない
- ・他人の情報を書き込まない
- ・プロフは誰でも見ることができることを意識する。
- ・具体的な情報は「どこまで書いてよい」というルールを自分で作っておく

ワークシート

問題 4-1

学年____クラス____名前_____

以下は、あるゲームの攻 略 情報^{こうりゃく}を交換する掲示板^{けいじばん}でのやりとりです。書き込みをした人たちの問題点について、話し合ってみましょう。

ゆった：西の洞^{どう}くつの地下 7 階のとびらのかぎってどこにあるんですか？

奏：地下 3 階の魔法^{まほう}使いを 5 体倒すと出てくる宝箱の中に入ってるよ。

ゆった：さっそく試してみたんだけど、宝箱が出てこないみたいです。

タケ：奏の情報は間違い。ちゃんと調べてから書けよ。

奏：友だちから聞いたことを教えただけなのに、そんなえらそうな口調で書くことないじゃないですか。

タケ：間違^{まちが}ってたのに、よくそんな言い方ができるよな。

ゆった：で、結局、どうやったらかぎは手に入るんですか……。

1. 奏とタケは、なぜケンカしてしまったのでしょうか。

2. 掲示板^{けいじばん}などで知らない人と情報交換や会話をして、よかったこと、失敗したことはありますか。

問題解説 4-1 設問 1

[模範回答]

- ・ 奏が不確かな情報を書き込んだから。
- ・ タケの文章の書き方が、乱暴だったから。

電子掲示板などの Web ページは、不特定多数の人が利用しており、情報は必ずしも正確ではない。また、自分が書き込む情報が不確かな場合は、その旨をあらかじめ断わった上で発言するなど、自分が発信する情報の信憑性に留意すべきである。

また、実際の知り合いではない不特定多数の人間が書き込む電子掲示板などでは、書き込む文体も重要である。丁寧だけでなく、その場の雰囲気に合わせて書き方であることも必要で、不自然に丁寧すぎると、かえって警戒されることもある。

問題解説 4-1 設問 2

[回答例]

- ・ 好きな芸人がテレビに出る情報を教えてもらった。
- ・ 共通の趣味の友だちができた。
- ・ 乱暴な言葉を使ってしまう、ほかの利用者を怒らせた。

実際に掲示板やコミュニティサイトに書き込むような活発な生徒は、学年や情報発信の経験、本人の性格などの条件によってそれぞれ異なると考えられる。しかし、そういう活発な生徒の体験を共有させることで、インターネットでの情報交換のメリットと注意点を、親近感を持って理解させることができる。

また実際に授業のなかで、掲示板やチャットを用いた議論を体験させることも有用である。



ワークシート

問題 5-1

学年____クラス____名前_____

あなたが買った CD の音楽をコピーしてあげていいのは、だれまでだと思いますか？

- ☐自分だけ
- ☐兄弟姉妹まで
- ☐いっしょに住んでいる家族まで
- ☐特に仲のいい友だちまで
- ☐同じクラスメイトまで
- ☐同じ学校の人たちまで
- ☐同じ国に住んでいる人たちまで
- ☐地球上のすべての人

問題解説 5 - 1

[模範回答]

一緒に住んでいる家族まで

著作物の私的使用については、著作権法第三十条で次のように定義されている。

個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用すること（以下「私的使用」という。）を目的とするときは、次に掲げる場合を除き、その使用する者が複製することができる。

これによれば、法的には家庭内に同居する人の間での著作物の複製は私的利用の範囲である。

ただし、親しい友人間での音楽の複製（MD へのダビングなど）は、日本ではカセットテープが普及してきたころから一般的に行われており、実際にプロとして活躍している音楽家でも、友人間で音楽を複製して多くの音楽体験を得たことを認めている人もいる。親しい友人関係で音楽を複製する程度なら、著作権者あるいは著作権管理団体からは大目に見られる可能性は高い。ただし「友人」と称して、不特定多数の人間に頒布することは認められない。



ワークシート

問題 5-2


学年____クラス____名前_____

教科書やニュース記事などの中から、「引用」にあたる部分を探して、書き出してみましょう。

問題解説 5-2

〔回答のヒント〕

引用のルールとして、どこからどこまでが引用であるのかを明確にしなければならないため、カギ括弧でくくる、出典を明記するといったことが広く行われている。新聞などの論説記事では、過去の記事や文書の一部などが本文中に引用されることが多く、比較的容易に引用箇所を発見できるだろう。



ワークシート

問題 6-1

学年____クラス____名前_____

1. みんなからきられ、法律で規制されているにもかかわらず、迷惑メールめいわくを送る人がいなくなる
ないのはどうしてだと思いますか？

2. 迷惑メールめいわくを受け取ったら、どのように対応すればいいでしょう？

問題解説 6-1 設問 1

[模範回答]

- ・ 迷惑メールにひっかかる人がたくさんいて、儲かるから
- ・ インターネットのメールはほとんど無料[†]で、手間をかけずに大量に送れるから
- ・ 迷惑メールを送る専門の違法業者がいるから

問題解説 6-1 設問 2

[模範回答]

- ・ 何もしないですぐに削除する。
- ・ 書かれているリンクをクリックしたりしない。
- ・ 「迷惑メールはやめてください」などと返信しない。

現在、商用サイトを営む業者自身が迷惑メールを発行しているケースは少ない。多くは、迷惑メール専門の配信業者が依頼を受けて、膨大な送信先メールアドレスのデータベースを元に送信するといったように、かなりシステムティックになってきている。

こういった業者がなくならないのは、迷惑メールの配信に元手がほとんどかからず、利益が大きいからである。ここでいう「利益」とは、出会い系などの性的なサービスをエサにした架空請求や、架空の商品代金についての振り込め詐欺など、犯罪に絡むものが大半である。

詐欺行為で「利益」が出るということは、迷惑メールに対して返信したり、リンクをクリックするなどして、迷惑メールの手口にひっかかる人がいるということである。

興味が少しあるからといってリンクをクリックしたり、返信メールを送ってしまうと、詐欺行為にひっかかりやすいユーザーとして目をつけられ、迷惑メールがさらにたくさん届いたり、もっと悪質な勧誘や脅しを受けることになる。

迷惑メールに対する最も適切な対策は、「無視する」ことである。



ワークシート

問題 6-2

学年____クラス____名前_____

あなたが受け取るメールのうち、必要なメールは残しつつ、迷惑^{めいわく}メールだけをうまく取り除くには、どのような条件を設定すればよいでしょう？ 条件を考えてみましょう。

問題解説 6-2

[模範回答]

- ・特定のメールアドレスから送られてくる場合は、そのアドレスだけを迷惑メールとして登録する。
- ・パソコンから送信されたメールのうち、送信元アドレスをなりすましたメールだけ受信しないよう設定する。

実際にどのようなフィルターを設定すればよいかは、子どものメール利用状況や、迷惑メールの配信数およびタイプなどで異なる。

フィルターの設定を間違えると、必要なメールまで見られなくなることがある。子どもの年齢や情報リテラシーの習熟度によって、子ども本人が設定することが難しいときには、実際の設定を保護者に行ってもらうのが理想である。

そしてそれを機会に、子どもの携帯電話は保護者がきちんと管理するものだという意識を持たせるとともに、保護者にも携帯電話の機能に関心を持ってもらうきっかけとなればなお良い。参観日等に保護者を集めて設定の実習などを行うと、喜ばれるだろう。



ワークシート

問題 6-3

学年____クラス____名前_____

けいじばん
掲示板上に書きこんだのがだれなのかが本当にわからなくなってしまった場合、どのような状態になると思いますか？ またどのような問題が起こると思いますか？

問題解説 6-3

[模範回答]

- ・誰かが悪口を書き始め、けんかになる。
- ・誰かが自分を偽って嘘を書き、人間関係が壊れてしまう。
- ・パスワードが変えられてしまい、閉鎖もできなくなる。
- ・ID を登録した人の個人情報がネットに流出してしまう。

特に、保護者と子どもで携帯電話やパソコンを共有している場合に、ID やパスワード、暗証番号まで共有するのは危険である。知らない間にクレジットカードで買い物されたり、設定を変えられて保護者が閉め出される可能性もある。

また最近では、企業や団体が個人向けの情報発信ツールを使って広報などを行うケースも増えている。担当者が一人ならば問題ないが、今後は ID を複数人で管理することによるトラブルが社会問題化することも考えられる。個人による情報発信は、個人の責任においてなされるべきであり、そういう考え方を早いうちから身につけておくことが大切である。